



特典②：学級通信 三段構成テンプレート & AI変換プロンプト



学級通信は、保護者へ「学級のOSが正常に動いていること」を伝える、最も費用（労力）対効果の高いツールです。

この特典では、先生がメモした「今日の子どもの様子」を、そのまま通信の記事に変換する仕組みを提供します。

1. 信頼を積み上げる「三段構成（事実・姿・ひとこと）」

文章は、下の3つを埋めるだけでOKです。これだけで、単なる報告ではない「教育的価値」のある通信になります。

- **事実 (Fact)**：教室で起きた「出来事」をありのままに書く。
- **姿 (Figure)**：その時、子どもたちが「どんな表情・どんな行動」をしていたか。
- **ひとこと (A Word)**：その姿から、担任が感じた「価値（キーワード）」を添える。

2. 【AIプロンプト】箇条書きメモを記事に変換する

下のプロンプトをAI（ChatGPT等）に貼り付け、続けて先生が見た「事実」を箇条書きで入力してください。



【AIへのコピー用プロンプト】

以下の【今日の出来事】を元に、学級通信に掲載する温かい記事を作成してください。

■ あなたの役割

21年の教員経験を持つ、子どもの良さを見つける達人。
派手な言葉（キラキラした理想論）は使わず、事実に基づいた誠実な文章を書く担任。

■ 記事の構成ルール

1. **事実**：何が起きたか。
2. **姿**：子どもがどう動いたか、どんな表情だったか。
3. **ひとこと**：担任としての価値付け。

この3段構成で、**200～300文字程度**にまとめてください。

■ 大切にしているキーワード（軸）

[ここにキーワードを入力：例「誇り」や「自治」]

■ 今日の出来事（メモ）

[ここに先生が取ったメモを入力。例：

- ・掃除の時間、Aさんが誰もいない階段を一人で掃いていた。
- ・声をかけると「汚れていたのに」と一言だけ言って続けた。
- ・自分の役割の場所は終わっているはず。]

3. 生成される記事のイメージ

「誰が見ていなくても」

今日の掃除の時間、ふと階段に目を向けると、Aさんが一人でほうきを持って掃き掃除をしていました。実はAさん、自分の担当場所の掃除はすでに終えていたのです。

理由を尋ねると、「汚れていたのに」と一言。誰かに褒められるためでも、先生に言われたからでもなく、ただ「汚れているから綺麗にする」という真っ直ぐな姿がありました。

私たちのクラスが大切にしている「誇り（プライド）」とは、まさにこうした姿を

指すのだと感じます。誰が見ていなくても、自分たちの場所を自分たちの手で整える。そんなAさんの背中から、クラス全体が大切なことを学ばせてもらった、清々しい時間でした。

4. 時短テクニック：見出し（タイトル）作成プロンプト

記事は書けても、タイトルで悩む時間を削るための追加プロンプトです。



【追加プロンプト】

「作成した記事に合う、保護者の目を引く『短くて印象的な見出し』を3案出してください。」

💡 先生へのアドバイス

- 学級通信を「完璧な読み物」にしようとしないでください。
- 週に一度、このプロンプトを使って、「**先生は子どものこういう姿を、このキーワード（軸）で見えていますよ**」という報告をするだけで、保護者の安心感が高まります。
- 写真は1枚あれば十分。あとはこのAI文章を流し込むだけで、先生の「教育観」が伝わる通信が完成します。